

3年 家でべんきょう!

(5月18日~22日)

先週は、計画できにべんきょうすることができましたか。
ノートには、かならず日づけを書き、教科ごとではなく、べんきょうした日ごとに書いていきましょう。

しっかりじゅんびで
バッチリスタート!

◆国語 かん字ドリル 新しいかん字1回目(1時間)

「くりかえし漢字ドリル」5 「詩」 「習」 「商」 「動」

・3年生でならうかん字のべんきょうをはじめましょう。

かん字のべんきょうのしかた

- ①読み方を声に出して読む。
- ②いみ、れい文、じゆく語を声に出して読む。
- ③書きじゅんをおぼえながら、ゆびでなぞる。【3回】
- ④空書きする。(空中か、なにも書いていないところに、ゆびで書く。)
【3回】
- ⑤おぼえたら、えんぴつをもち、ドリルに書く。

- ・はね、とめ、はらいなどに気をつけながら、ていねいにドリルに書きましょう。
- ・時間がある人は、ノートにれんしゅうしたり、そのかん字をつかったじゆく語や文をしらべて書いたり、してみましよう。(4マスに1字で書くと大きくて書きやすいです。)

詩

◆国語 かん字ドリル 新しいかん字2回目(1時間)

「くりかえし漢字ドリル」6 「物」 「開」 「族」 「葉」

- ・3年生でならうかん字のべんきょうをしましよう。
- ・べんきょうのしかたは、1回目と同じです。
- ・はね、とめ、はらいなどに気をつけながら、ていねいにドリルに書きましょう。
- ・時間がある人は、ノートにれんしゅうしたり、そのかん字をつかったじゆく語や文をしらべて書いたり、してみましよう。(4マスに1字で書くと大きくて書きやすいです。)

◆国語 どきん 音読・書きうつし(1時間)

「どきん」 国語教科書12・13ページ

- ・音読しましよう。いろいろな読み方をしてしましよう。
(大きく、小さく、ゆっくり、はやく、「つるつる」「ゆらゆら」などのようすを体のうごきであらわしながら)

- ・ノートに書きうつしましょう。
- ・どの文がすきですか。すきな文にまるをつけ、その近くにりゆうも考えて書きましょう。
- ・教科書会社のホームページでは、音読の見本が見られます。
光村図書ホームページ 3年 4・5月教材

https://www.mitsumura-tosho.co.jp/oshirase/shien_taio/s_kokugo/3/index.html

◆算数 九九を見なおそう1回目 (1時間)

「九九を見なおそう」 算数教科書 9～11 ページ

- ・教科書のもんだいをとぎ、ノートに答えを書きましょう。
- ・下のノートの見本をまねして、書きましょう。
- ・算数のノートはいつも左のページからはじめましょう。

ノートでつかうマークのいみ

- ㊦ もんだい
- ㊧ 学しゅうのめあて
- ㊨ 考え方
- ㊩ まとめ
- ㊪ ふりかえり

- ①教科書のもんだいを読みます。
- ②ノートに「もんだい」と「めあて」を書きます。
- ③「考え方」を書きましょう。時間がある人は、ほかの考え方も書いてみましょう。
- ④考え方が書けたら、お家の人にせつめいしましょう。
- ⑤分からない人は、10ページの考え方を見てみましょう。
- ⑥10ページの①をやります。3人の考えをせつめいしましょう。
- ⑦「まとめ」を書きましょう。今日のこの学しゅうをふりかえって、だいじなことをまとめましょう。教科書をさんこうにしてもいいです。

算数のノートは、いつも左のページから始めましょう。 日づけ、ページ、だい名などを書きます。

5/21 9ページ 九九を見直そう

㊦ 7×4の答えの見つけ方を考えましょう。

㊧ 九九の答えの見つけ方を考えよう。

㊨

①

はるとさん
7×4の答えは、□×□の答えと同じになる。

式 7×4 =

みさきさん
7×4の答えは、7×3の答えより□大きくなる。

式 7×4 = × +

おみさん
7×4の答えは、7×5の答えより□小さくなる。

式 7×4 = × -

㊩ かけ算のきまりをつかえば、九九の答えを見つげることができると。

ここには、自分の考えを書きます。式や言葉、図などをつけて書きましょう。

「まとめ」では、教科書にあるまとめを見て、書きましょう。

◆算数 九九を見なおそう2回目 (1時間)

「九九を見なおそう」 算数教科書 11ページ 計算スキルアップ⁴

- ・今日は、きのうの学しゅうのれんしゅうもんだいをやります。
- ・教科書のもんだいをとき、ノートに答えを書きましょう。
- ・下のノートの見本をまねして、書きましょう。
- ・算数のノートはいつも左のページからはじめましょう。
- ・計算スキルアップは、そのまま書きこみます。答え合わせは、学校でやります。

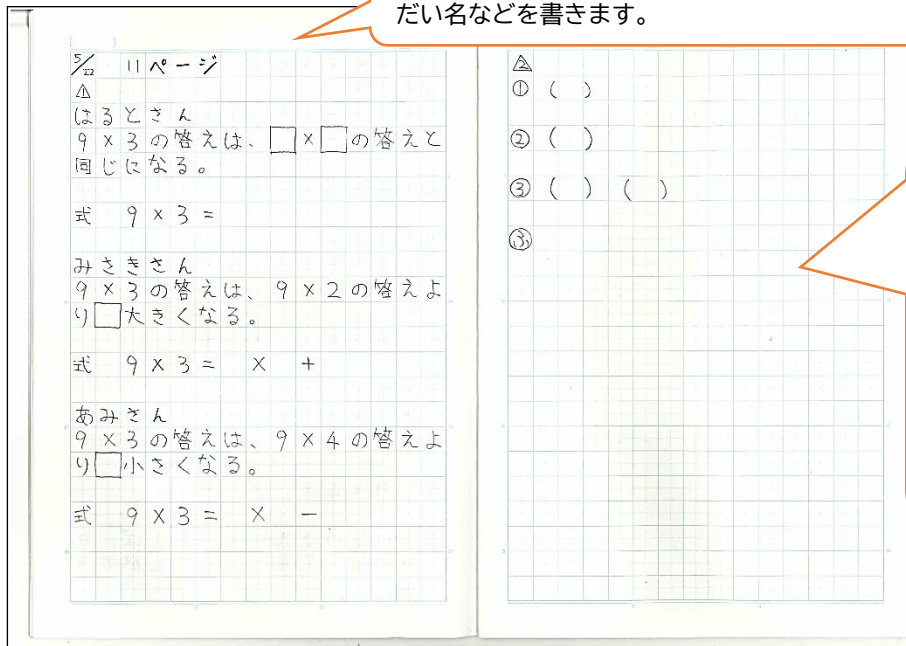
①教科書のもんだいを読みます。

△1 △2 は、ノートに答えを書きます。

②計算スキルアップ⁴をやります。

③「ふりかえり」をノートに書きましょう。気づいたことやつぎにいかしたいことなどをひとこと書きましょう。

算数のノートは、いつも左のページから始めましょう。日づけ、ページ、だい名などを書きます。



「ふりかえり」では、自分のせいちょうをたしかめるために

- ・わかったこと
 - ・つぎに考えてみたいこと
 - ・できるようになったこと
 - ・ぎもんやむずかしかったこと
- などを書きます。

◆理科 こん虫のかんさつ (1時間)

生き物を調べよう 教科書16ページ かんさつ1

- ・教科書の生き物ミニずかん(こん虫ずかん)を見て、その中から1つえらんでかんさつして絵をかくれんしゅうをしましょう。いろえんぴつをつかってかきましょう。
- ・形や色、大きさなど図かんで調べてわかったことを文で書きましょう。 ノート見本→
- ・生き物ミニ図かんは、二次元バーコードで読み取るとWEB図かんを見ることができます。
- ・時間がある人は、えらんだものいがいのかん虫をかいてみましょう。

しよく物の名前()

全体 形や色()

大きさ()

下のあまったところに

大きく

絵をかく

◆社会 地図ちょう (1時間)

「地図ってなんだろう」 地図ちょう7・8ページ

- ・7・8ページをよみましょう
- ・8ページの【トライ!】にこたえましょう。地図ちょうに書きこみましょう。
- ③のこたえは、地図ちょうのあいているところに書きましょう。

「地図のやくそく」 地図ちょう9～12ページ

- ・9～12ページをよみましょう。
- ・10ページと12ページの【トライ!】にこたえましょう。地図ちょうに書きこみましょう。

◆図工 ぶんぐくんのひみつきち

「ぶんぐくんのひみつきちを作ろう」

【めあて】どんなひみつきちにするか考えて、つくろう。

せんしゅうあつめたざいりょうをつかって、ぶんぐくんのひみつきちをつくりましょう。

- ・なにがあったら、ぶんぐくんがべんりに生かすことができるかな(ベッド、つくえ、食べ物、プールなど)
- ・どんなあそびばしょがあったらたのしいかな。

などを考えてつくってみましょう。

☆よいするもの

先週あつめたざいりょう、カラーペン、はさみ、セロテープ

☆先生にだすもの

ぶんぐくんとひみつきち

◆音楽 ようすを思いうかべながら歌おう3回目(1時間)

「茶つみ」 音楽教科書14ページ～17ページ

「春の小川」 音楽教科書10ページ・11ページ

【めあて】「春の小川」と「茶つみ」のにているところとちがっているところを見つけよう。

①教科書17ページの右下にある二次元コードや教科書会社のホームページにある「自宅学習支援コンテンツ」を使って「茶つみ」をきいたり歌ったりしましょう。

(インターネットを使って音楽をきくときは、おうちの人のしじに したがいましょう。)

※「自宅学習支援コンテンツ」は、<https://textbook.kyogei.co.jp/library/> にあります。

②教科書17ページの「手あそびのれい」を見ながら、はくのにのって手あそびをしながら「茶つみ」を歌いましょう。

③「春の小川」と「茶つみ」をくらべて、にているところとちがっているところを見つけて、

ノートにまとめましょう。

【見つける方法のれい】

○音読をして、歌詞（かし）の文字の数をくらべる。

（れい：「は る の お が わ は」と「な つ も ち か づ く」

「き し の す み れ や」と「は ち じゅう は ち や」

○2つの曲を歌って、音ぶのリズムやしゅるい、音のつなげ方による曲そうをくらべる。

※「春の小川」…教科書11ページの右下にある二次元コードか「自宅学習支援コンテンツ」

※「茶つみ」……教科書17ページの右下にある二次元コードか「自宅学習支援コンテンツ」

【学習感想】

「春の小川」と「茶つみ」のにているところとちがっているところを見つける学習をして、曲のかんじに合った歌い方について考えたことや学習をした感そうを、ノートに書きましょう。

- ♪ 来週は、けんばんハーモニカをつかって音階（おんかい）の学しゅうをします。
- ♪ 手や体をうごかして音の高さを表しながら、「ドレミ」（音階）を歌っておきましょう。【ふくしゅう】
「ドド レレ ミミ ファファ ソ ソ ララ シシ ド！（上で手をパチン！）」
「ドド シシ ララ ソ ソ ファファ ミミ レレ ド！」（下でゆかを両手でさわる！）
- ※教科書9ページの「風船」をさわりながら歌うこともできますね！

◆読書（読書タイム）

- ・いろいろな本を読みましょう。
- ・お家の方に読んでもらったり、読んで聞かせてあげたりしてもいいですね。
- ・読んだ本の名前とひと言かんそうをノートに書きましょう。
- ・もっと書ける人は、かんそうをふやしたり、心にのこったばめんの絵などもかいてみましょう。